部局名	上下水道局	所属名	維持管理課	所属長名	小笠原 朗	電話	483-6587
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	9943	事務事業名称	災害時応急給水用機材整備事業				短縮コード	経常	9943	臨時		
予算区分	会計	63	水道事業会計_収益的支出	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	02	配水及び給水費
区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他		根拠法令等									
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
災害発生時に給水活動を行うため。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	04	快適生活空間都市をめざして					
阪神淡路大震災や新潟中越地震, 新潟県中越沖地震等の近年頻発する災害に対し, 住民の防災意識が向上しており, そのニーズに応えるべく, 災害用応急給水資材の備蓄拡大を目指している。					大項目 (節)	04	水道					
					中項目	01	水道					
					小項目 (施策)	03	災害・環境対策の強化					
					細項目	03	緊急時対策の推進					
					実施計画の計画事業							
				計画事業の位置付けの有無	☐		計画事業期間	~			計画事業費	千円

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	災害時の応急給水活動。						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成20年度に実際に行ったこと: 非常用機材等購入 ・非常用給水袋.....1,800袋 ・コンクリート水栓柱.....40本 ・ペットボトル.....20,000本 ※平成21年度に計画していること: 非常用機材等購入予定 ・非常用給水袋.....5,000袋 ・コンクリート水栓柱.....30本 ・ペットボトル.....20,000本						
意図 (何を狙っているのか)	災害時に使用する応急給水機材の備蓄。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外						

区分	指標	内容	単位	19年度	20年度		21年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	災害発生件数	件	0	0	0	0
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	非常用給水袋の購入	袋	1,200	2,200	1,800	5,000
	指標 2	コンクリート水栓柱の購入	本	0	40	40	30
	指標 3	ペットボトルの購入	本	0	10,000	20,000	20,000
成果指標	指標 1	備蓄数 (給水袋)	袋	2,300	4,500	3,400	8,400
	指標 2	備蓄数 (水栓柱)	本	0	40	40	70
	指標 3	備蓄数 (ペットボトル)	本	0	10,000	0	20,000
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	9943	事務事業名称	災害時応急給水用機材整備事業			所属名	維持管理課
	単位	19年度		20年度		21年度	
		実績	計画	実績	計画	計画	
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円		2,495	2,885	4,274
	その他	千円					
主な事業費の内訳				備消耗品費：2,495千円	備消耗品費：2,863千円	備消耗品費：4,274千円	
人件費(B)		千円	0	1,479.7	1,479.7	1,479.7	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	3,974.7	4,364.7	5,753.7	

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☒ 結び付いている	継続的な購入を行い、災害用応急給水資材の備蓄を拡大することで目標達成に寄与することができる。			
		☐ 結び付くが見直しの余地がある				
		☐ 結びつきが弱い・ない				
		☐ 評価対象外事項				
目的妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している	八千代市民全てをカバーするまでの備蓄と考えると、まだまだ備蓄数は少量であり、今後も継続して購入し、備蓄する必要がある。			
		☒ 達成していない				
		☐ 評価対象外事項				
		☐ 評価対象外事項				
目的妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	☐ 可能性はある	八千代市防災計画を具体化した「上下水道局災害対策マニュアル」に基づく事業であり、直営で担うべきである。			
		☒ 可能性はない				
		☐ 評価対象外事項				
		☐ 評価対象外事項				
目的妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☒ 現状のままでよい	あくまでも災害時の応急給水を目的としているため、現状のままでよい。			
		☐ 見直す必要がある				
		☐ 評価対象外事項				
		☐ 評価対象外事項				
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性はある	八千代市上下水道事業中期経営計画や上下水道局災害対策マニュアルに基づき、直営で災害用応急給水機材を備蓄することを事業化しているため、これ以上の有効性、効率性の向上の可能性はないと考えられる。			
		☐ 効率性向上の可能性はある				
		☐ 両方可能性はある				
		☒ 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)
		☐ 臨時的任用職員等の活用				
		☐ IT化等の業務プロセスの見直し				
		☐ 受益者負担の見直し				
	⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	☐ ある	類似事務事業名称	2		実施主体(所管部署)
		☐ ない				

コード	9943	事務事業名称	災害時応急給水用機材整備事業			所属名	維持管理課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		☐ 改革・改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止(事業完了含む) ☐ 休止 ☒ 現状のまま継続			八千代市上下水道事業中期経営計画や上下水道局災害対策マニュアルに基づき、直営での災害用応急給水機材の備蓄を事業化しており、今後も基本的な方針に変わりはないため、現状のままとなる。																					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td>☐</td> <td>☒</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	☐	☐	☐	不変	☐	☒	☐	低下	☐	☐	☐	八千代市上下水道事業中期経営計画や上下水道局災害対策マニュアルに基づき、直営での災害用応急給水機材の備蓄を事業化しており、今後も基本的な方針に変わりはないため、コスト面・成果面共に変化はない。
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	☐	☐	☐																							
	不変	☐	☒	☐																							
	低下	☐	☐	☐																							

この事務事業に対する市民や議会の意見(担当者が把握している意見) ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
<p>当局のみが管理する非常用飲料水(ペットボトル)の備蓄ではなく、自主防災組織が管理する防災倉庫で非常用飲料水を備蓄したいとの要望があがっている。</p>	

所属長コメント	八千代市上下水道事業中期経営計画では、災害非常時における飲料水の確保と迅速な復旧活動を行うため、応急給水用機材の整備事業を進めている。計画の早期達成を目指して取り組みたい。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止(事業完了含む) ☐ 休止 ☒ 現状のまま継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。